



障がい者の社会参加を広げる

おおぞら通信



認定 NPO 法人おおぞら

133号 2022年12月20日 発行

「おおぞら」は、グループホームの運営・就労支援の活動を軸に、主に知的障がい・発達障がいのある方々の地域生活を支援する活動を行っています。
“障がいのある方が、地域の人々とともにふつうに暮らすこと”、それが私たちの願いです。

地域で生きる  地域が活きる



2022

今年一年お世話になりました



2023

2022 年ももうすぐ終わりですね。寝床から出るのが億劫な季節がやってきました。相も変わらず新型コロナウイルスが収まる様子を見せず、どうにも出かけづらい日々が続いています。

今年を振り返ってみると、ただひたすらコロナ感染症の対応に明け暮れていたような印象しかありませんが、うしくあみ斎場売店喫茶あさぎの終了、久しぶりの地域イベントへの参加、沢山の方からのロウソクのご寄付などなど、よくよく考えてみるといろいろありました。

一方、国内では大阪マンショングループホーム訴訟で大阪地裁から退去の判決がでたり、施設での障害者に対する虐待が複数報道されたり、国連の障害者権利委員会からは日本の障害者施策に対して 90 項目以上の改善勧告がだされるなど、まだまだ福祉後進国ぶりを発揮しています。

それでも、今日より明日、今年より来年、日本の福祉が良いものになるように、おおぞらは牛久市で地道に活動していきたいと思っています。今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

合言葉は
地域で生きる♡地域が活きる！

ちいきでいきらくらす
地域で生きる暮らす

賛助会員・ご寄附にご協力をお願いします
活動にご賛同いただける方のご入会・ご継続お願いいたします。



障害者雇用促進法

1960年に制定された「身体障害者雇用促進」を基に、1987年知的障害、2013年精神障害の雇用の義務を追加されたものです。改正障害者雇用促進法では、次の4つの取り組みを中心とする施策を講じる事と定められています。

- 障害者雇用を法的義務とした「障害者雇用率制度」
- 障害者雇用をコストの面から支える「障害者雇用納付金制度」
- 障害者に対する「差別の禁止及び合理的配慮の提供」
- 職業生活における自立を実現する「職業リハビリテーション」

障害者雇用率制度もあり、現在障害者の雇用者数も右肩上がりで増えています。

これを踏まえて、今とても増えている障害者雇用代行ビジネスについて少し考えてみたいと思います。

尚、これから述べる事は、障害者雇用代行ビジネスを否定するものではない事をあらかじめお伝えします。

では参りましょう。

障害者雇用代行ビジネスとは

おもに障害者雇用率が未達成の企業などからの依頼に応じて障害者の働く場を提供するビジネスの事をいいます。今増えている貸農園型のビジネスモデルで具体的に説明します。

障害者雇用率未達成企業 A 社(以後、A 社)が障害者雇用代行ビジネス B 社(以後、B 社)に不足している障害者雇用を依頼します。B 社は A 社に障害者の働く場として水耕栽培の1区画を貸与、雇用のお手伝いをします。A 社は、管理者となる従業員(シニア・パートタイムなど)とともに B 社の農園で業務に従事(出向)させます。B 社は栽培のアドバイスや、障害者の就労サポートなどを管理者へ行います。A 社は雇用した管理者と障害者の給与、B社への貸農園・サポート費用などを支払うことにより法定雇用率を充足させているわけです。B 社の貸農園では大勢の障害者が業務にあたっていますが、隣の区画の人は別の企業の人ということになります。

ちなみに、ここで栽培されている野菜・ハーブなどは市場で販売するものではないことが多いようで、企業内のノベルティなどに使われているようです。A 社にとっては障害者雇用率を充足でき、企業のイメージにも良い影響があるでしょう。雇用されている障害者にとっても、最低時給以上の給与をもらうことができるお互いに WIN - WIN の関係ではあるのですが・・・私はちょっともやっとしてしまうのですよね・・・

例えば

A 社の従業員とB社に出向してる従業員との交流があまりなく、どんな人が仲間として働いているのかわからない。

A 社の本事業とは直接関係のない業務であることが多い。成果はあまり求められていない。

A 社にとって障害者への合理的配慮をする機会がなくなる。

などなど・・・

皆さんは、どう感じますか。

世の中には、障害者を雇用し、働きやすい作業環境・作業方法を構築することで、売り上げを伸ばしている企業さんもあるので、企業の皆様にご一考いただければいいなと思う次第です。

私たちが行っている就労継続支援 B 型の月額全国平均工賃は令和 2 年度で 15,776 円、時給は 222 円。これでは利用者さんが生活なんてできるわけもなく、B型事業所の努力不足であり、もっともっと知恵を絞って収入につなげる努力をしなくてはならないと自省をするところです。(お)



厚生労働省:令和3年 障害者雇用状況の集計結果より



障害者を雇用するようになって業績を伸ばしている

企業さんの好事例

浜松市、京丸園様

(浜松市のホームページ)





就労支援事業所きりの木



季節が秋から冬へと変わり、きりの木では公園や施設の除草作業から竹林伐採へと受託作業の内容を変える季節となりました。夏場は、竹が水分を多く含んでおり状態が良くない事とハチなどの虫刺されのリスクがある事から、竹林整備作業は冬場の作業としています。早速今シーズン 1 件目の作業を牛久市内で行いました。まだ余力がありますのでご依頼お待ちしております。



冬季限定のおさつチップスの製造・販売を開始いたしました。今年は適切な除草作業のおかげで昨年以上の収穫が出来ました。フル回転で製造しますので皆様のお買い求めお待ちしております。きりの木農園のおさつチップスはしっかりした歯ごたえのチップスとなっています。少しづつしっかりと噛むことでお芋のおいしさが味わえますよ！とにかく、寒さでおいもが痛むまでが勝負(さつまいもの保管庫がありません(T_T))。がんばります！

昨年、除草が間に合わず全滅してしまった落花生が今年は豊作です。これからみんなで選別、焙煎してピーナッツバターに加工していきます。出来上がりをお待ちください。きりの木農園は渋皮も一緒にピーナッツバターにしますので、抗酸化作用のあるポリフェノールを豊富に含んでいますよ！



きりの木の古株、杉本さんが 12 月より一般企業に正式に雇用されました。この企業さんには、ほかにも障害を持った方が働いており、それぞれ特性に合わせた作業を行い、戦力として活躍されています。長い方では40年以上お仕事されているそうです。杉本さん卒業おめでとう！就職おめでとう！頑張れー！

きりの木では、利用者さんを募集しています。お菓子を作ったり、野菜を作ったり、製品を包装するなど室内外でできる作業があります。特性に合わせて作業をしていただいています。見学大歓迎です。お問い合わせください。

製品の購入・仕事の依頼・見学など各種お問い合わせは
 電話：029-875-8841 メール：kirinoki@npoohzora.org

グループホームすばる



前号に引き続き、ひまわりの入居者(女性)を募集しています。空いている部屋は2階の和室(日当たり良好)となっています。

- グループホームの体験利用
- 短期入所

もご利用いただけます。現在ご利用中の日中活動を継続してご利用いただけます。ひまわりでは支援区分2~5の方が共同生活をしています。この機会にグループホーム体験してみませんか。見学も受け付けています。(お問い合わせは：029-873-8883)

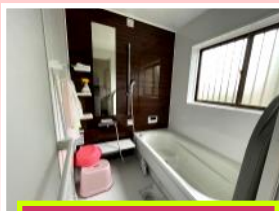
わたしたちと一緒に暮らしませんか



牛久市南にひまわりはあります。



リビングです。食事をしたり話したり。



広々とした浴室。毎日きれいにさっぱり。



陽当り・眺めの良い南西角部屋です。



和室ですが、ベッドOKです。



おおぞらは認定 NPO 法人です！税制優遇が受けられます

税制上の優遇処置について

「おおぞら」にご寄付いただいた場合、寄付金控除等の優遇処置を受けることができます（寄付金の受領書が必要です）。賛助会員費および寄付としてご入金いただいたものが優遇税制の対象となります。

今後の寄付金の用途

- ◆重度障害者対応グループホームの新設を企画中です（バリアフリー、平屋構造、スプリンクラー設備・・・）
- ◆就労支援事業拠点移設を企画中（野菜加工場、菓子類製造場を併設）



①オンライン上で寄付ができるようになりました

クレジットカードでの決済と銀行口座へのご入金案内が利用できます。寄付の際に必要な情報が入力できますので、事務処理の軽減につながります。オンラインでのご寄付にご協力ください。下の URL か右の QR コードを読み込んで、専用寄付サイトからお願いします。

<https://congrant.com/project/ohzora/2595>



②ゆうちょ銀行の払込取扱票でのご寄付

おおぞらで用意しておりますゆうちょ銀行の払込取扱票をご利用いただくと、記入箇所が少なく便利です（払込手数料はおおぞら負担です）。事務局へご連絡いただければお送りいたします。（郵貯 ATM での小銭取り扱いおよび現金での振り込みに手数料がかかるようになります。カード・通帳でお振込みください）

スタッフ募集中！

グループホーム オリーブ

- ・パートタイム（世話人）
 - ・月・水・金のうち1～2日（夕16時～翌朝9時）
 - ・日給14,250円～（深夜手当込み）
- 定員3名の小さなグループホームのお仕事です。食事づくりや掃除・生活費管理など身の回りの支援を行います。入浴・トイレ介助が少しあります。

おおぞら掲示板

就労支援事業所きりの木では、障害者の方々の仕事づくりとして竹を使った着火材“竹火”を製造しています。竹火は放置竹林から出た竹と使用済みのロウソクを原料にした環境負荷を軽減した製品です

現在、原料のロウソクが不足しております。不要となったロウソクの提供にご協力いただけますと嬉しいです。

ロウソクは、小さくても、色付きでも大丈夫！



←ろうそくご提供用フォーム

竹循環プロジェクト→



2022年度会員募集！

当法人の活動にご賛同いただける方のご入会をお待ちしております。

期間：2022年4月～2023年3月

- ◎正会員：3,000円 ◎賛助会員：3,000円
- ◎団体正会員：10,000円 ◎団体賛助会員：10,000円

※同封した振込用紙をご利用ください。

◎活動へのご寄附へもご協力をお願いいたします



SNS発信をしています



※それぞれ以下の検索ワードで覗いてみてください

Twitter → NPO法人おおぞら/ハピリィマルシェ/ @npoohzora

Facebook → 特定非営利活動法人おおぞら

Instagram → npoohzora / 特定非営利活動法人おおぞら

日々のできごとをゆる～く更新中！よろしければフォローをお願いします

特定非営利活動法人おおぞら 理事長 小澤 純也 編集 おおぞら事務局

住所：〒300-1287 茨城県牛久市田宮3丁目1-18 電話：029-873-8883 ファクシミリ：029-886-5161

ホームページ： <https://npoohzora.org> E-mail: mail@npoohzora.org

